

- 問1 砂丘地帯において、地点Xから地点Yを結ぶ直線上の地形の変化を調べました。地点X側では等高線の間隔が非常に密集しており、標高60m付近まで一気に上昇した後、地点Y側に向かって等高線の間隔が広がっている場合、この区間の断面図の様子を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 地点X付近は標高が低く、標高60mに達するまではなだらかな傾斜が続く、頂上付近で急激に標高が下がっている。
 2. 地点X付近は急な上り斜面となっており、標高60mの山頂部を過ぎると、地点Yにかけてなだらかな地形が続いている。
 3. 地点Xから地点Yまで等間隔で標高が上がり続けており、地点Yにおいて砂丘の最も高い地点に到達している。
 4. 地点X付近は平坦な地形で、地点Yに近づくにつれて等高線が密集し、標高60mを超える急峻な崖になっている。
- 問2 東北地方の太平洋側に位置する三陸海岸の南部などに見られる、のこぎりの刃のように複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。山地が沈み込んだり海面が上昇したりすることで、かつての谷に海水が入り込み、狭い湾や入り江が形成されたものを指します。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 砂浜海岸
 2. リアス海岸
 3. カルスト地形
 4. 干拓地
- 問3 大規模な地震が発生し、津波の危険がある海岸沿いの地域において、避難時に最も優先すべき行動として適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 移動速度を上げるため、高低差の少ない海岸線沿いの道路を通して遠くへ避難する
 2. 津波の引き波が発生するのをその場で確認してから、近くの頑丈な建物へ移動する
 3. 海（海岸線）からできるだけ遠ざかり、標高の高い安全な場所へと避難する
 4. 水が入りにくい地下駐車場や地下街に潜り、津波が通り過ぎるのを待つ
- 問4 ある地域の2万5千分の1地形図において、海岸線から内陸に向かって数えて3本目の主曲線上に津波避難所が設置されている状況を想定します。海岸線の標高を0mとしたとき、この避難所の標高として読み取れる数値はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 約10m
 2. 約40m
 3. 約30m
 4. 約20m
- 問5 地形図において、低地に広がる住宅地付近の地点Aと、その東側に位置する台地上の茶畑付近の地点Bを比較したとき、地点Bの標高や地形的特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 地点Bは茶畑として利用されているため、水田として利用される地点Aよりも標高が低い。
 2. 地点Bは台地の上に位置しているため、低地にある地点Aよりも標高が高い。
 3. 地点Bは台地の下に位置しているため、低地にある地点Aよりも標高が低い。
 4. 地点Bは地点Aと同じ等高線上にあるため、地形の高さに違いは見られない。
- 問6 自治体が作成する、地域の避難場所や自然災害の被害想定を示した地図資料を活用する目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. 等高線から傾斜の緩急を読み取り、道路の建設や宅地造成を行う際の最適な場所を特定するため
 2. 日本銀行の金融政策による景気変動の情報を得て、地域の企業が投資計画を立てる際の参考にするため
 3. 日本のおもな年中行事の時期を確認し、地域の伝統行事への参加を促して文化を継承するため
 4. 事前に被害が予想される区域や避難先を把握し、実際の災害時に迅速な避難行動に結びつけるため
- 問7 日本の伝統文化と人々の生活との関わりについて述べた次の文のうち、内容が正しいものを選択してください。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 節分に行われる豆まきは、秋の収穫に感謝するために立秋の前日に全国の農作物で行われる儀式が起源である。
 2. 節分は明治時代以降に欧米の文化を取り入れて始まった新しい行事であり、主に東京都の浅草神社周辺でのみ行われている。
 3. 節分は一年の終わりを告げる行事として大晦日と同義で扱われ、立冬の前日に家族で静かに過ごす習慣を指す。
 4. 節分はもともと四季の節目を意味する言葉であり、現代では立春の前日に邪気を払う豆まきなどの行事が行われている。
- 問8 地形図において、点が2つ並んだ記号で表される土地利用は、静岡県牧之原市付近に見られるような標高が周囲より少し高い平坦な場所に多く分布しています。この土地利用の名称と、この地形に多く分布する理由の組み合わせとして適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 針葉樹林であり、台地は冬の寒さが厳しく、良質な木材を育てるのに適しているから
 2. 果樹園であり、台地は風通しが良く、病害虫の発生を抑えることができるから
 3. 水田であり、台地は日当たりが良く、稲の成長を促進させるのに適しているから
 4. 茶畑であり、台地は水はけが良く、根が腐りにくい栽培に適しているから
- 問9 日本の沿岸部を通る高速道路の中には、津波発生などの災害時に周辺住民の避難場所として活用されるものがあります。想定される最大の津波による浸水深が3～4メートルである地域において、盛り土構造によって平均8～9メートルの高さに建設された高速道路が避難場所として有効とされる最大の理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 道路がトンネルや地下構造を中心に設計されており、津波による波の衝撃から直接避難者を守ることができるため。
 2. 高速道路の壁面が強固な防潮堤として機能し、津波の浸水そのものを完全にせき止めることができるため。
 3. 盛り土によって道路面が周囲の浸水想定域よりも高い位置に保たれ、安全を確保できるため。
 4. 高速道路は緊急車両専用の道路となるため、被災地への救援物資を最も早く届ける拠点となるため。
- 問10 地震や豪雨などの自然災害が発生した際、外出先で取るべき行動として最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 家族の安否を直接確認するため、公共交通機関の復旧を待たずに徒歩で自宅への帰還を開始する
 2. より安全だと思われる遠方の親戚の家を目指し、長時間かけて移動する
 3. 自宅などの慣れた場所へ戻ろうとせず、あらかじめ確認した避難経路を通して最寄りの避難場所へ迅速に移動する
 4. 周囲の状況が落ち着くまで、避難指示の有無にかかわらずその場で待機し続ける
- 問11 太平洋を囲むように分布し、日本列島もその一部に含まれる造山帯の特徴として、最も適切な説明はどれですか。複数のプレートが重なり合う境界付近に位置していることを考慮して選んでください。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。
 2. アルプス・ヒマラヤ造山帯に含まれ、ヨーロッパからアジアを横断して日本まで続いている。
 3. 安定陸塊と呼ばれ、地殻が非常に安定しているため、大規模な地震や火山活動はほとんど見られない。
 4. 古期造山帯に分類され、長期間の侵食を受けたことによって、なだらかな山地や高原が広がっている。
- 問12 2013年の統計において、養殖こんぶの収穫量は北海道（約2.5万トン）に次いで、岩手県（約9600トン）が全国2位、宮城県（約600トン）が3位となっています。この背景には、岩手県から宮城県にかけて広がる、複雑に入り組んだ地形を活用した養殖業の発展があります。この海岸地域の名称として最も適切なものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
1. 宗谷岬
 2. 三陸海岸
 3. 九十九里浜
 4. 湘南海岸